

2020年度 児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所評価表

WALLESS ACEDEMY

		チェック項目	工夫している点・課題や改善している点
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	個別支援における適切なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	法令に遵守した職員数を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	バリアフリー化はされているが、個室ドアの幅が少し狭い感じは受けるかも知れません。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	定期的に社内会議を行い、より良いサービスの提供に向けて話し合いの場を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	今後活かしていく予定です。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	ホームページにより公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者評価は行っておらず、保護者と事業者の二者評価のみおこなっています。 第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討します
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	今後は年間計画に基づいた社内研修会をはじめ、外部の研修にも積極的に参加していく予定です。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	支援初期のアセスメントから始まり、支援を実施していく中で保護者のニーズも汲み取りながら包括的アセスメントによって計画を進めています。

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	子どもの支援内容に合わせたアセスメントツール及びLD 特性児童に対しても「読み書きアセスメント」を整備しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	マンツーマンの取り組みですが、担当を固定化しないようにしており、毎日支援開始前にどのような活動プログラムを実施するか全支援員と確認しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	担当指導員を固定化しないようにしているため、個々の指導員の強みを活かし、情報共有しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	学校生活や家庭生活での課題に対して支援をしており、平日、休日で支援内容を変えることはありませんが、長期休暇中は児童の楽しみたい気持ちに沿った活動を取り入れます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	基本的に個別支援を目的として実施しており、集団活動については現在予定していません。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	毎朝の打ち合わせにて、その日の担当や支援内容について確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後は各支援の記録をする時間となっており、振り返りに関しては職員間で随時情報共有し、メモに残したりもしている。今後はさらに情報共有の時間を設けていく予定です。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	日々記録をとることは徹底されています。支援の検証・改善につなげる他、保護者にも支援経過報告書として毎月お渡ししています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	モニタリングの時期に合わせて見直しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	ガイドラインの総則の基本活動を参考にしながら支援を実施しています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	保護者を通じて学校との情報共有を図っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは現在ありませんが、必要に応じて連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	移行支援会議には積極的に参加し、情報共有をしております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	相談員を通じて、これまでの支援内容が適切に共有できるよう心がけております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	自治体の各機関を含めた連携会議に積極的に参加して助言を受けようとしております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	これまで学校以外との地域資源との交流はありませんが、子どもが地域で過ごす上で重要と捉えており、機会があれば積極的に関係を構築していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	定期的実施される自立支援協議会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎月お渡ししている支援結果報告書等で共通理解を図っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	ペアレントトレーニング、保護者の座談会、保護者カウンセリング、子育て講座など今後行う方向で考えています。	

保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者からの悩みに対して、公式ラインを活用してもらい必要な助言提供やお子様の支援中にお話する機会を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	今後必要に応じて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情解決体制を整備しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	定期的にブログ等 SNS を発信し、情報を提供しております。
	35	個人情報に十分注意している	利用者の個人情報を記載した書類は、鍵付きの収納棚に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	利用者や保護者の状況や特性に応じて配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	事業所で行事を開催したことはありませんが、今後、必要に応じて検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	各種マニュアルは整備しており、職員間での周知はできていますが、保護者への周知についても今後整備をしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	避難訓練、その他必要な確認を行っています。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	マニュアルを策定し、職員研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	現在、身体拘束を必要とする機会はありません。今後そのような機会がありましたら、事業所内で検討し、保護者の了承を得たうえで計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	支援を行う中で必要に応じて確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	事例が発生した場合には、職員間で共有します。

【公表】 2021年4月15日